

2019 JUA/EAU Academic Exchange Programme 参加報告

松本隆児 (北海道大)

この度 JUA/EAU Academic Exchange Programme に選考していただき、2019年3月9日から20日までスペイン国内2つの施設見学、そしてバルセロナで開催された EAU Congress 2019 に参加しましたので報告致します。施設見学の間は岡山大学の和田耕一郎先生、そして台湾から Exchange Programme で来ていた3名の先生方と一緒に勉強させていただきました。台湾の先生方はお子さんや妻と一緒に来ていましたが、和田先生と私は共働きということもあり単身でした。

3月9日にマドリッドに到着し、翌日は日曜日ということもありマドリッド市内の王宮見学や街中観光ツアーが用意されており、素晴らしい天気の中、美しく歴史のある街並みを散策しました。その晩には、翌日よりお世話になる La Paz University hospital の Prof. L. Martínez Piñero とメンバー達と dinner を共にし文化交流を図ることができ、また日本人の口にも合う米や魚介類を使ったスペイン料理を堪能しました (写真1)。11日より La Paz University hospital の見学が始まりました。Prof. L. Martínez Piñero は尿道形成に大変精通されており、その詳細な lecture を受けた後、尿道下裂術後の尿道狭窄・瘻孔に対する口腔粘膜を用いた尿道形成術を間近で見ることができました。他にも、10cm 大の左副腎褐色細胞腫を腹腔鏡下に1時間で摘出するなど、洗練された内視鏡外科の手技を見ることができ、改めて欧米の high volume center の技術の高さを実感しました。La Paz University hospital には経済的な問題もあり daVinci が導入されていないのですが、前立腺全摘も daVinci と変わらない精度で腹腔鏡下に行われていました。夕方からは世界一のサッカークラブ、レアルマドリッドのホームスタジアムであるサンチャゴベルナベウ見学にいき、そのままスタジアム内にある居酒屋のようなレストランで La Paz University hospital の比較的若い先生方とワインを飲みながら歓談し、大変楽しい時間を過ごさせていただきました。

12日の夜にバルセロナに移動し、宿泊先はあのサグラダファミリアの隣区画にあるホテルでした。部屋からは巨大なサグラダファミリアが眼前に見え驚嘆しました。サグラダファミリア以外にも多くのガウディ作世界遺産が近くにあり、時間を見つけて和田先生と一緒に散策もしました。翌朝からお世話になった Fundació Puigvert は世界遺産 Hospital de Sant Pau に隣接した泌尿器科専門病院で、boss の Prof. J. Palou に暖かく迎え入れていただきました (写真2)。手術は献腎移植、膀胱全摘、尿管鏡、RARP が同時進行で行われており、それらの見学を



写真1. La Paz のメンバーとの dinner



写真2. Fundació Puigvert 入口で Prof. J. Palou と一緒に撮影、右から3番目が Prof. J. Palou 右端は和田先生、左端は筆者



写真3. EAU International dinner にて

終えた後、用意された日本食を美味しくいただき、午後からは濃密な lecture を受けることができました。中でも Prof. Breda の前立腺癌に対する cryotherapy、上部尿路上皮癌に対する内視鏡診断・治療、cT1~2 腎癌に対する RAPN と開放腎部分切除術の lecture は非常に興味深い内容でした。また、膀胱全摘後の合併症に関する lecture もあり、年間 100 件膀胱全摘を行っている Fundació Puigvert であっても文献同様 50~70% の周術期合併症を認めるとのことで、膀胱全摘の周術期合併症を減らすことの難しさを改めて痛感しました。

15 日からいよいよ第 34 回 EAU congress が始まりしました。これまで何度か EAU には参加したことがあったのですが、今回も活気があり多くの最先端の臨床研究・基礎研究データが発表されており何ともいえない高揚感を感じました。17 日の夜には EAU International dinner に招待され参加いたしました。これまで参加したことが

ない格式の高い雰囲気には圧倒されていましたが、Dinner の始まりにいきなり壇上に呼ばれ記念の盾をいただくというサプライズもあり素晴らしい経験をさせていただきました（写真 3）。

最後になりますが、今回 JUA/EAU Academic Exchange Programme に選出していただいた日本泌尿器科学会の皆様と受け入れてくれた欧州泌尿器科学会、推薦していただいた当科篠原信雄教授、長期間の不在中ご迷惑をお掛けしました教室員の皆さまに心より感謝申し上げます。また、La Paz University hospital の Prof. L. Martínez Piñero、Fundació Puigvert の Prof. J. Palou、両施設のスタッフの方々、プログラム中大変お世話になりました岡山大学の和田耕一郎先生、日本泌尿器科学会事務局の田中有希様、EAU 事務局の Angela 様、Ilse 様に厚くお礼申し上げます。本プログラムで学んだことを生かして引き続き臨床・若手教育に邁進していきたいと存じます。